

九十九里ホーム病院外来診療棟改築工事起工式

去る6月16日（火）九十九里ホーム病院外来診療棟改築工事の起工式が日本聖公会横浜教区 片山謙司祭司式の下執り行われました。

工事関係者、法人役職員約40名が参加して行われた起工式は、聖歌を用いた後、全員が詩篇を唱えながら建築敷地を



起工式の様子

一周し、聖水の敷地祝福、鍬入れ等が行われ、井上理事長より、「神様のみ守りのなか九十九里ホーム80周年記念事業である病院外来診療棟改築工事が、安全第一で無事完工して下さるよう願っています。」と式辞を述べ閉式となりました。

現在皆様にご利用いただいている外来診療棟は、建設から47年が経過し、経年による建物の老朽化が進んでいることから、医療機関として、より安全で質の高いサービスを皆様に提供出来るよう外来診療棟の改築工事が計画されました。すでに、病院のシンボルであった外来玄関前のヒマラヤ杉の伐採や、大きな三角形のデザインが特徴であった庇の撤去など、工事は予定通り進捗しています。新しい外来診療棟は、平成28年4月の完成を予定しております。工事期間中は、工事関係車両の出入りや騒音等で、入院されている患者さんや来院の皆様、また近隣の皆様に大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜ります様、宜しく願いいたします。



外来診療棟完成予想図